

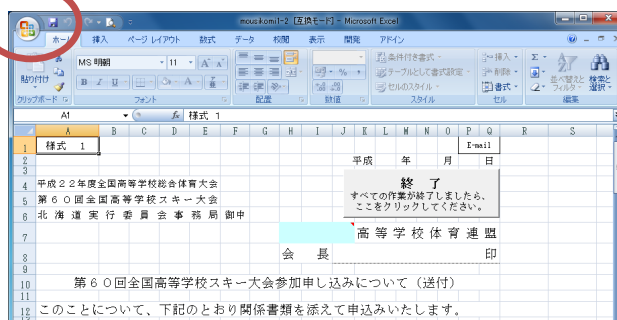
参加申込書の『マクロが有効』かどうかの確認の仕方

手順1 まず「参加申込書」を開きます

このとき、エラーメッセージのようなものが出ることがありますが、以降で確認しますので気にしないでください。

まず、ここで気にして欲しいのは、画面の見た目です。実は、エクセルにはいくつかのバージョンがあって、操作の方法が違うからです。

左上に次のようなマークが

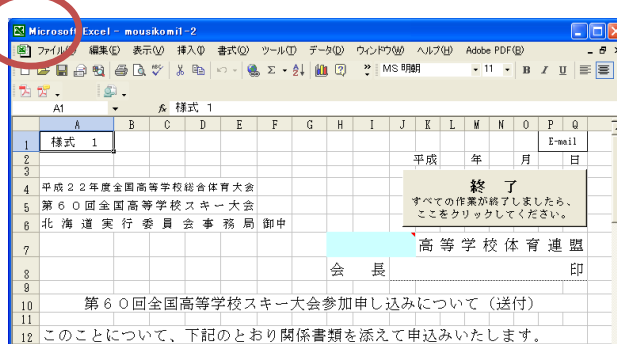


ある

バージョン

ない

バージョン



バージョンが確認できたら、手順1に進んでください。

バージョン Excel2007 とか Excel2010 などと呼ばれる、最近のバージョンです

バージョン ExcelXP とか Excel2003 などと呼ばれる、以前のバージョンです

手順2 エラーメッセージのようなものがでたか確認します

A) 特に、そのようなものはない

バージョン の場合、よく画面を見て下さい。

よく見ると

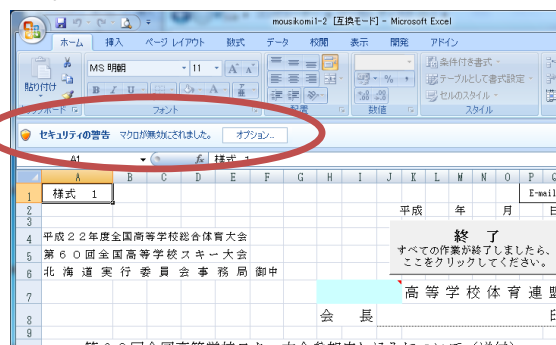
『セキュリティの警告』

が出ていることがあります。

この場合は下に進んで下さい

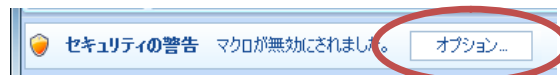
そうでない場合は、手順3に進んで下さい。

バージョン の場合、手順3へ進んでください。



B) なにやらエラーのようなものが出ている

バージョン の場合、次のような警告が出ることがあります。



この場合は、『オプション』を

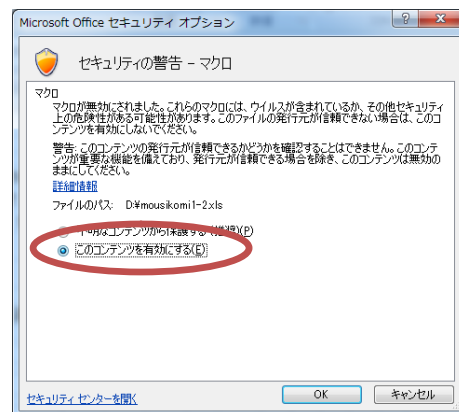
クリックすると

右のような表示が出ますので、

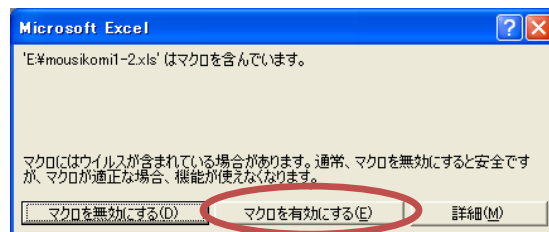
『このコンテンツを有効にする』

『OK』の順にクリックします。

最終確認2へ進んで下さい。



バージョン の場合、次のようなメッセージが出ることがあります。



『マクロを有効にする』をクリックしてください。最終確認2へ進んで下さい

手順3 データの入力をしてみます

試しに、申込責任者の名前を入力してみてください。


A) 順調に入力できている

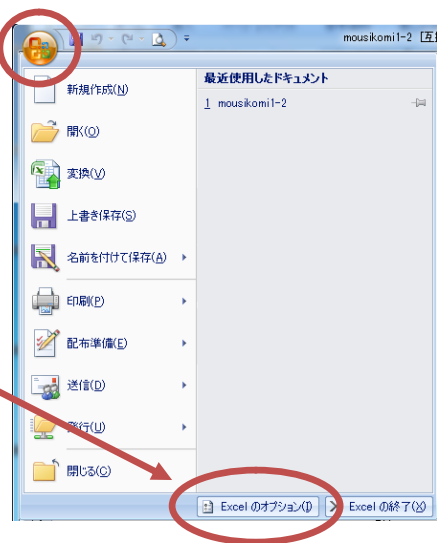
マクロは有効になっています。最終確認1へ進んで下さい。

B) 入力しようすると、エラーメッセージのようなものが出る

『保護されています』というメッセージが出る場合があります。
この場合まず『OK』をクリックし、メッセージを閉じた後、
次の手順に従ってマクロを有効にするための設定をして下さい。

バージョン 2 の場合

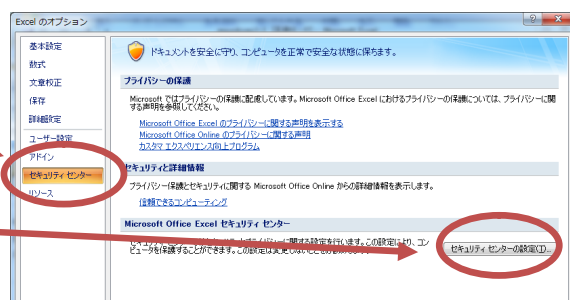
左上の  をクリックします
右のようなメニューが出ますので
一番下にある『エクセルのオプション』
をクリックします。



右のような表示が出ますので

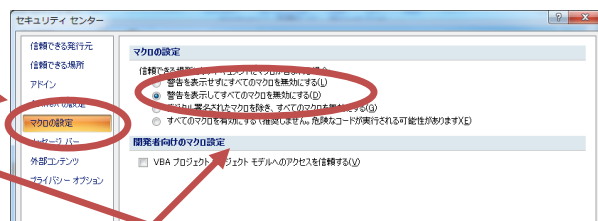
『セキュリティセンター』
『セキュリティセンター
の設定』

の順にクリックします。



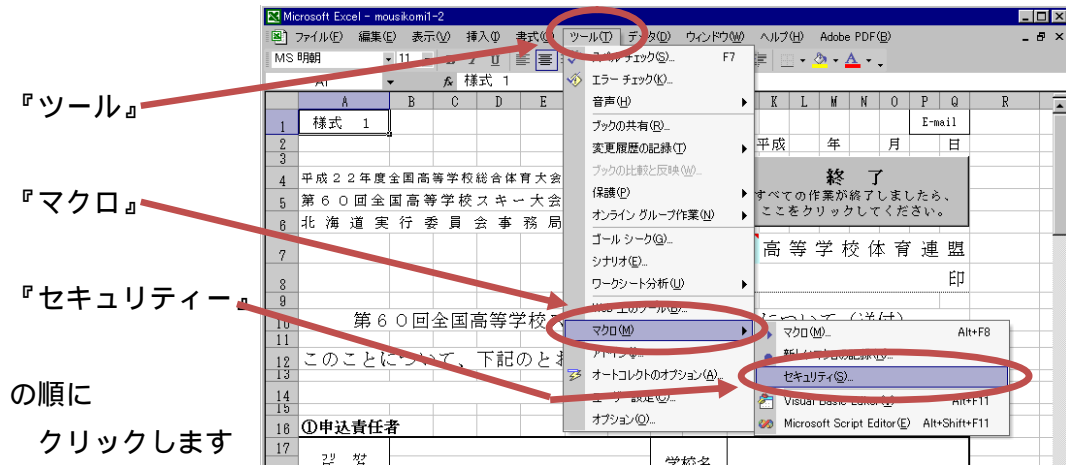
右のような表示が出ますので

『マクロの設定』
『警告を表示して
マクロを無効にする』
の順にクリックします。



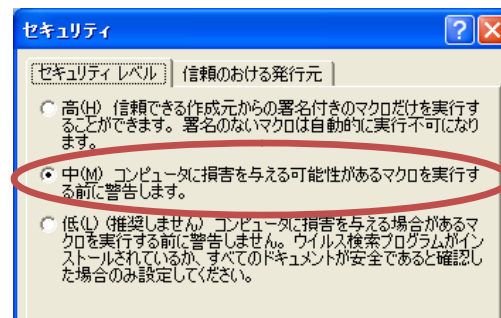
『OK』を何度かクリックした後、参加申込書を一度閉じて下さい。
その後、もう一度ファイルを開き、手順2のBに従って下さい。

バージョン の場合



右のような表示が出ますので

『中(M)コンピュータに損害を与える可能性があるマクロを実行する前に警告します』
をクリックします。



『OK』をクリックした後、参加申込書を一度閉じて下さい。
その後、もう一度ファイルを開き、手順2のBに従って下さい。

最終確認1 これからも開けばすぐ使えます！？・・・

使用者への断りなしに、マクロが実行できるように設定されています。確かに便利な一面もありますが、状況によってはウィルスに感染する可能性があります。もし、自分で設定したのであれば、手順3のBに従って、マクロ実行前に警告が出るようにした方がよいと思います。

最終確認2 これからも開いたら「有効」にしてすぐ使えます

マクロの入っているファイルを開くと、安全が保証されていないファイルの場合は、その度毎にマクロを有効にする操作(手順2のB)をする必要があります。面倒ではありますが、ウィルスに感染する危険性を下げることができます。